

RPPC メールマガジン 第 729 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 6 月 13 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 新規部会・既存部会の部会員を募集しております。

<募集内容>

募集期間：平成 30 年 6 月 5 日（火）～6 月 22 日（金）

申込方法：ファクス、E-Mail

新規の「災害廃棄物処理検討部会」及び「国際資源循環部会」をはじめ、

既存部会の

「循環資源利用促進部会」、「汚染土壌事業化部会」、「広報部会」

では、会員の皆様方の参加お待ちしております。

※参加申込書につきましては 6 月 7 日配信のメルマガ号外の添付ファイルをご利用ください。

2. メールの添付書類暗号化のお知らせ

当協議会から配信されるメールに添付されるファイルについて、暗号化をすることになりました。

今後、添付書類がある場合には、別途「解凍パスワード通知メール」が配信されますので、

ご承知おきください。

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート推進協議会 30 年度総会開催、専門部会を再編強化

リサイクルポート推進協議会（会長・米田徹糸魚川市長）は 6 月 5 日、都内会場で平成 30 年度総会を開催した。新規会員の承認や 29 年度活動報告、決算報告、並びに 30 年度活動計画、予算案などの議案に

ついて審議し、いずれも原案通り了承した。また当日は総会開催に先立って、リサイクルポートセミナーも開かれた。最近の行政動向として、環境省の担当者から環境関連法令等の改正をテーマとした2題の講演があったほか、今年5月に閣議決定された「第3期海洋基本計画」を国土交通省総合政策局の担当者が報告した。

総会開催にあたって米田会長は「リサイクルポート推進協議会では平成15年の設立以来、港湾を核とした静脈物流システムの事業化活動のネットワークづくりや事業化を目指した取り組みを進めて来ている。この中で26年度からは国土交通省・環境省との連携補助事業として「モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業」の実施、また災害廃棄物対策の取組みとして海上輸送による広域処理活動などを担ってきた。そして更なる活動として昨年度は国交省の協力を得て新たなニーズに対応したリサイクルポート施策の高度化に向けた研究会を設置し、今年度から新たに鉄スクラップ輸出や港湾を活用した災害廃棄物の広域処理、また産業副産物の有効利用についての取組みを進めることにしている。これらの実施にあたっては会員のニーズを踏まえ専門部会を再編・強化し、効果的に取り組んで参る所存」と挨拶した。

続いて来賓の中崎剛国土交通省港湾局海洋・環境課長が「米田会長からお話があったように昨年度、港湾局、当協議会、みなと総研と協力し、リサイクルポートの今後の在り方について検討を進め、災害廃棄物の円滑な広域処理、鉄スクラップ等の国際循環、産業副産物の有効利用等について重点的に議論した。その結果、当協議会では今総会を通じて新たな部会を設置しその拠点化等についての検討を深掘りされると伺っている。こうした取り組みにあたっては、官と民、地域と地域が連携した取組みが不可欠になる。港湾局においても支援させていただく」と挨拶した。

協議会の30年度活動計画では部会組織として従来の

▽調査研究部会、

▽汚染土壌事業化部会、

▽循環資源利用促進部会、

▽広報部会、

に加え、新たに

▽災害廃棄物処理検討部会、

▽国際資源循環部会

を設置することに決めた。

.....

2. 広島県、広島港港湾計画の次期改訂に向け作業進める

広島県は広島港の次期港湾改訂計画に向けた取組みで、今年7月にも第4回長期構想検討委員会を開催し、長期構想案の最終とりまとめを行うと共に、港湾計画素案についても議論する。そして9月頃までに地方港湾審議会を開催し、11月開催予定の交通政策審議会港湾分科会上程し、港湾計画の改訂を行う方針。

作業中の長期構想では広島港の概ね30年後の姿を描くと共に、次期改訂計画では概ね10年後の広島港の基本計画をまとめて具体化していく。

これまでに示された長期構想素案では、

- ①経済成長著しい東南アジアへの航路増便への要請に対応する取組みとして、出島地区の外貿ふ頭機能の強化、
- ②エネルギー需要の増加に対応する施策では、広島ガスのLNG棧橋のマイナス14m（現状は同12m）への拡充やふ頭用地の再編、
- ③大型クルーズ客船の寄港回数増加への対応、
- ④大規模災害時の防災・減災対策への要請では、耐震強化岸壁を出島地区等に配置、等が挙げられている。

.....

3. 境港管理組合、外港竹内南地区旅客Tビルに着工へ

境港管理組合は境港外港竹内南地区に計画している複合一貫輸送ターミナル事業に関連して、ターミナルビルの建築工事を契約した。今後現地着工し、別途直轄で進めている岸壁整備の進捗に合わせ、31年度後半の供用を目標に施設整備を進める。

ターミナルは鉄骨造り1階建て（送迎デッキを持った吹き抜け構造の2階建）で、延床面積は約3300平方m。

境港竹内南地区では中国地方整備局境港湾・空港整備事務所が、水深10m岸壁延長280m（取付部含め約300m）の複合一貫輸送ターミナルの整備を進めており、今年度後半には岸壁本体の築造工事へと進む動きになっている。同岸壁は北東アジアを結ぶ国際フェリーや国内RORO船、国際クルーズ船の受け入れ機能を担うことになっており、管理組合が整備するターミナルビルはそうした利用客の利便性や手続きの効率化に対応した施設になる。

【港湾空港タイムス 18 年 6 月 11 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。